

特別支援学校におけるセンター的機能の発揮に関する調査結果

基礎データ

学校数 23 校（分校 7、及び市立 2、国立 1 を含む）

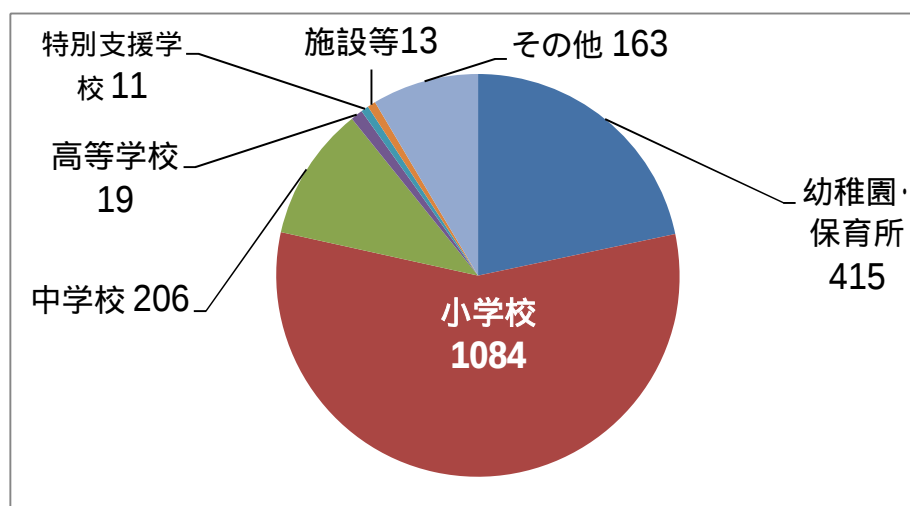
主として教育の対象とする障がい種別

（視覚障がい：1，聴覚障がい：4，知的障がい：12，肢体不自由：2，病弱：4）

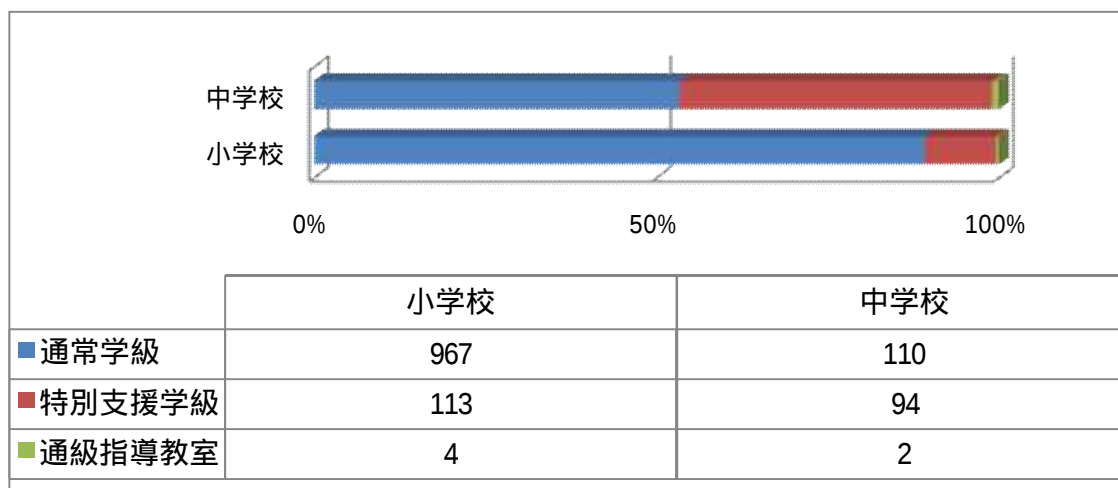
平成 19 年度 1 年間の業務対象

小中学校等の教員への支援機能 件数は全てのべ件数

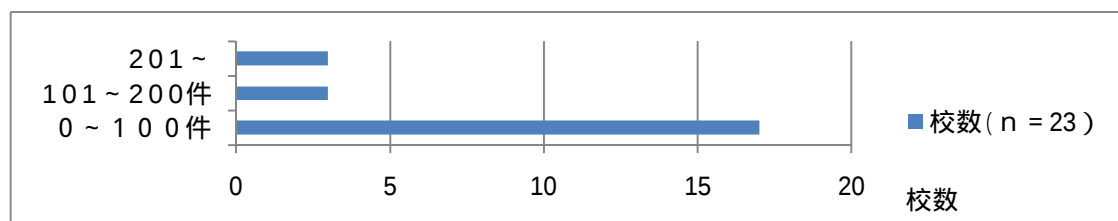
1 小中学校等の教員への支援件数（学校種別・総数のべ 1,911 件）



2 小中学校への支援の内訳（小学校総数のべ 1,084 件，中学校総数のべ 206 件）



3 各特別支援学校の支援件数の分布



4 支援内容（各校多いものから３つずつ選択）

支援内容	選択した学校数
障がいの理解と対応	21
授業づくりや学級経営	18
校内支援体制の構築	12
保護者との連携	4
個別の指導計画の作成	3
他機関の紹介	2

5 支援にかかわる旅費の支出方法（複数回答有）

相手校負担	自校負担	県費等
4	13	14

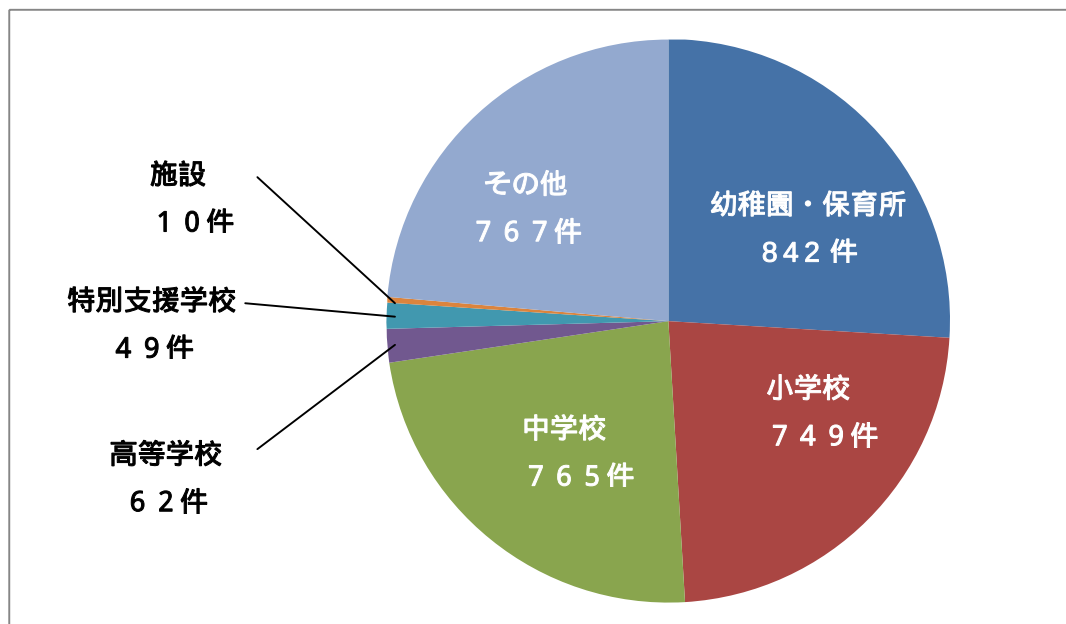
県費等は、地域教育相談推進事業、市教育委員会、大学

6 課題

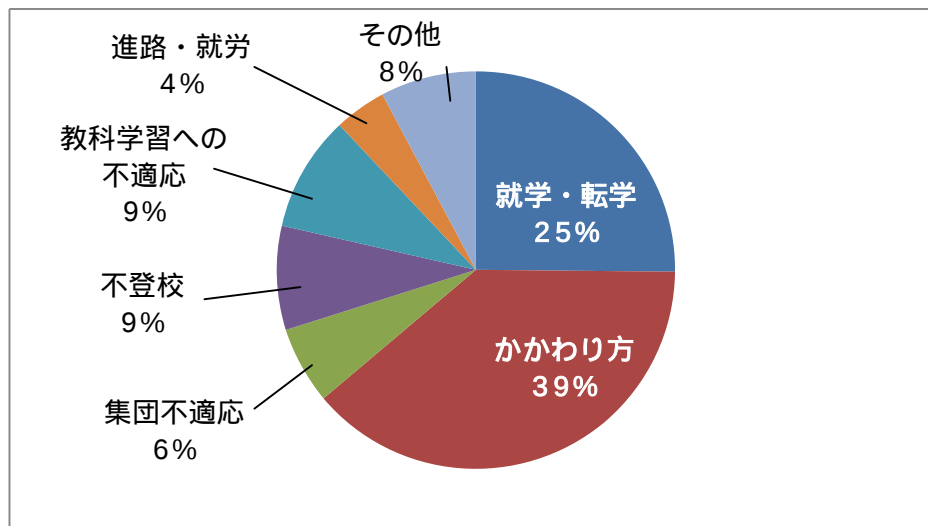
- 担当者及び担当者以外の支援能力の向上
- 対象児童生徒の所属機関、小中学校とのつながりの薄さ
- 旅費等の問題
- 出かける支援のための校内体制づくり

相談・情報提供機能

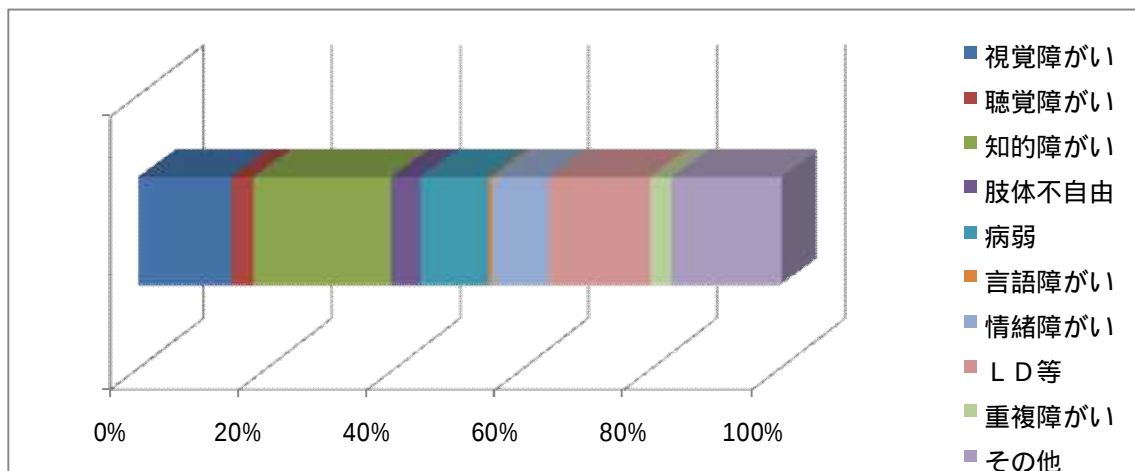
1 在籍校園別相談・情報提供件数（総数のべ3244件）



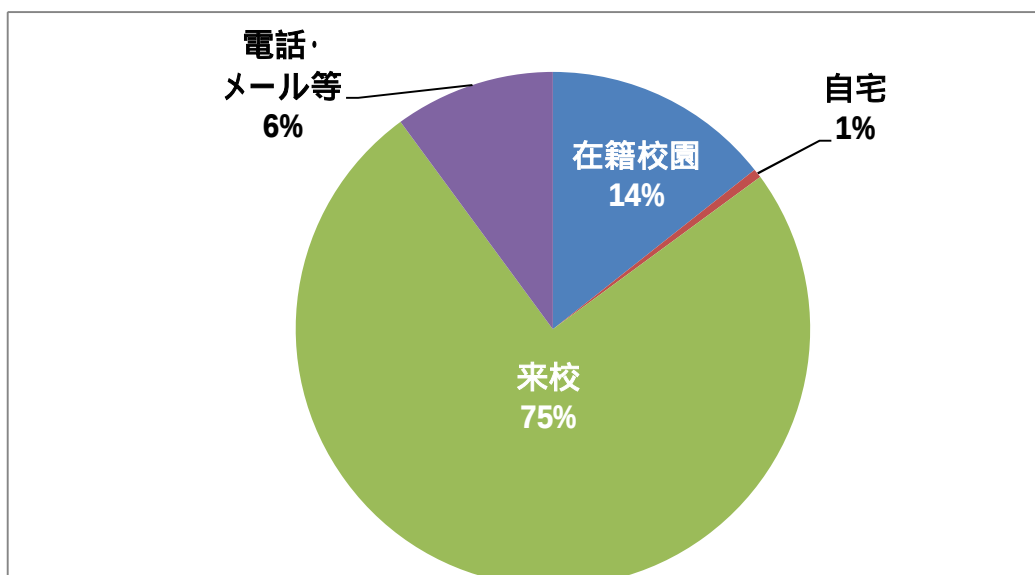
2 相談・情報提供の内容（重複回答有）



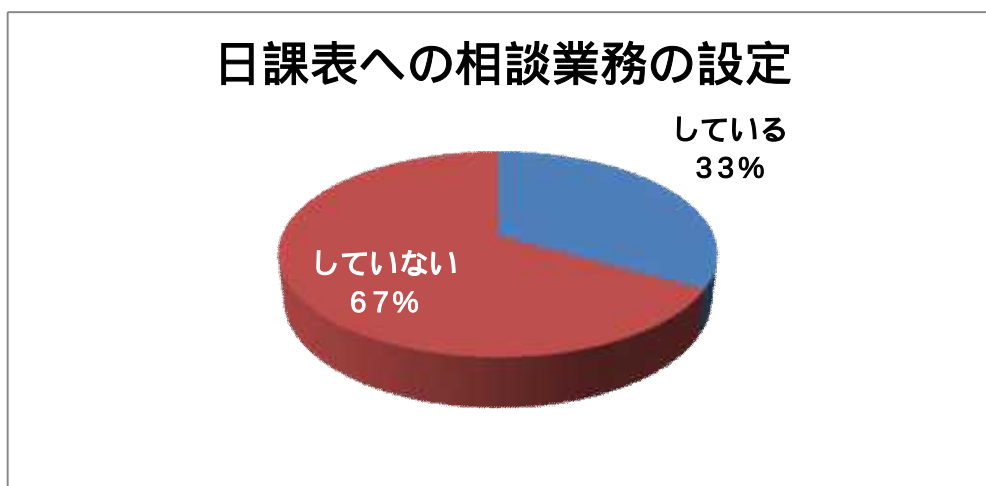
3 障がい種からみた相談・情報提供（重複回答有）



4 相談・情報提供を行った場所



5 相談体制

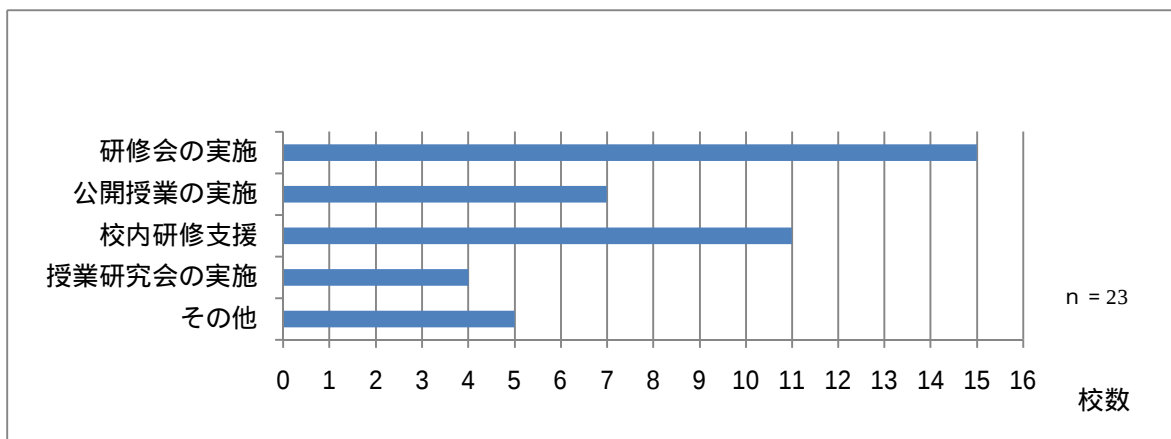


6 課題

- 相談担当者の力量の向上と後継者の育成
- 相談件数増加に伴う相談に当たる人員確保等の校内体制
- 相談件数増加に伴う相談日程の調整
- 医療や福祉とのネットワーク構築

研修協力機能

1 実施した研修協力等

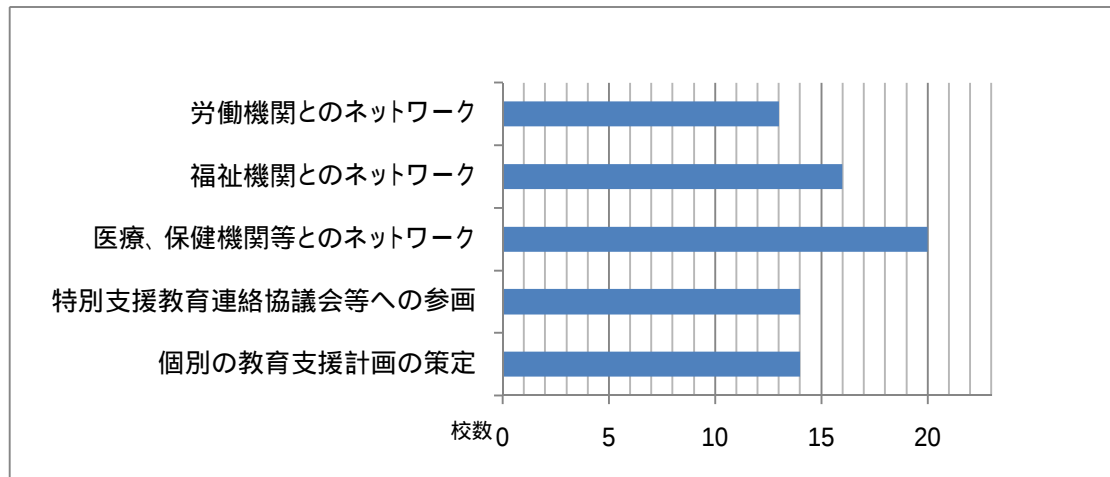


2 課題

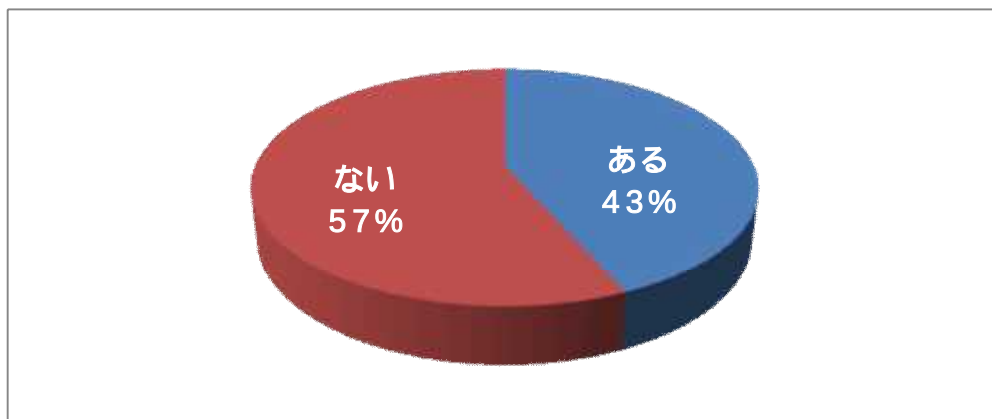
- 学校独自での予算確保の難しさから、行政機関との連携
- 小中学校の研修への協力以前に自校の教員の研修が急務
- 定期的な研修会の開催、内容を徐々に発展させた研修会の開催

関係機関との連絡・調整機能

1 他機関とのネットワークの（有るもの重複回答可）



2 自校が中心となったネットワークの有無



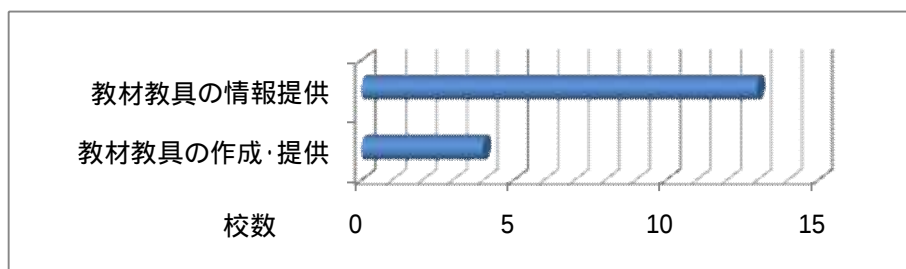
3 課題

- 外部機関との情報の共有化、ネットワークの構築
- 会議のための旅費等
- 担当者異動により連携が断ち切れることのないような組織としての取り組み

施設設備提供機能

1 施設設備の提供は、皆無に近い

2 教材教具の提供等



センター的機能を発揮するための体制

1 センター的機能を発揮を担っている校務分掌（多かった方から）

教育支援（地域支援） 相談（教育相談、早期教育相談） 研修
特別支援教育コーディネーター、教務（学部主事） 進路指導 等

2 教職員数における担当者の割合（23校合計）

在籍教員数	担当者数	割合
1 3 7 9	2 4 0	1 7 . 4 %

在籍教員数 50 名以上で割合が一番高かった学校

在籍教員数	担当者数	割合
6 9	1 7	2 4 . 6 %

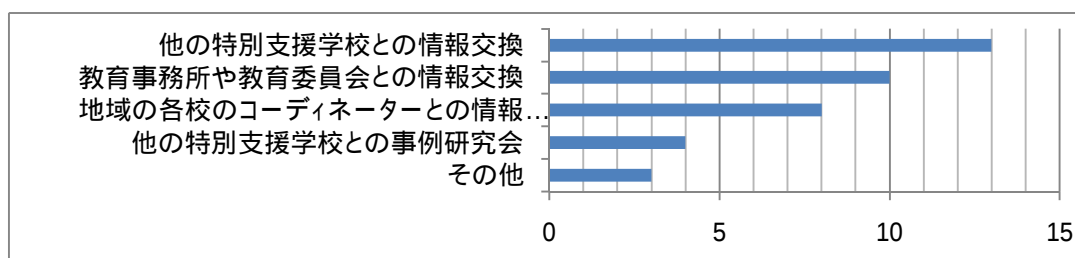
3 担当者における役割分担の有無

有、無ともに 5 0 %

4 受講した研修等

教育相談に関するもの（巡回相談研修会を含む）
発達障がいに関するもの
個別の知能検査の実技等に関するもの

5 他機関との連携等（有るもの重複回答可）

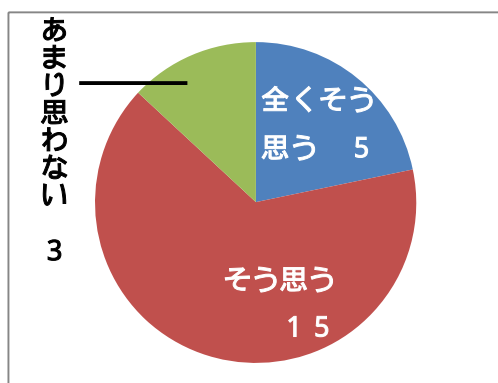


6 課題

- 校内の体制づくり、強化
- 地域の体制づくり・強化

担当者の感想（数値は回答した学校数）

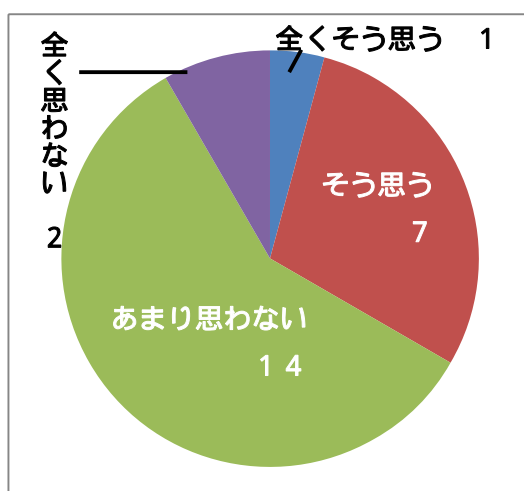
1 自校のセンター的機能に対して、小中学校等の期待は大きいと思いますか。



《理由》

全くそう思う・そう思う
・ 相談や問い合わせの件数の増加 ・ 研修会開催への期待の声
あまり思わない
・ 本校への進学に関する相談が多い

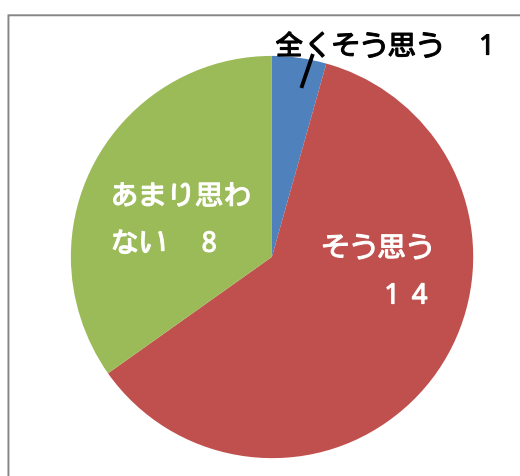
2 小中学校や保護者は自校の支援を受けることに抵抗があると思いますか。



《理由》

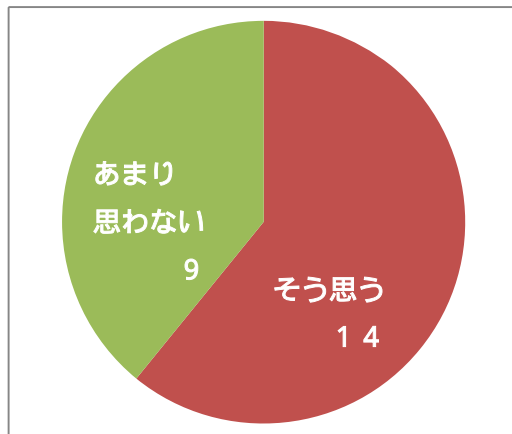
そう思う
・ 特別支援学校の支援を受けるということが浸透していない。（快く思っていない） ・ 特別支援学校へ転校や就学を進められるのではないかと警戒されることもある。
あまり思わない
・ 保護者と担任とが連携をとりながら相談に訪れている。 ・ 情報や支援策を得たいと願っている教師や保護者が多い。

3 小中学校に対して自校はセンター的機能を十分発揮できていると思いますか。



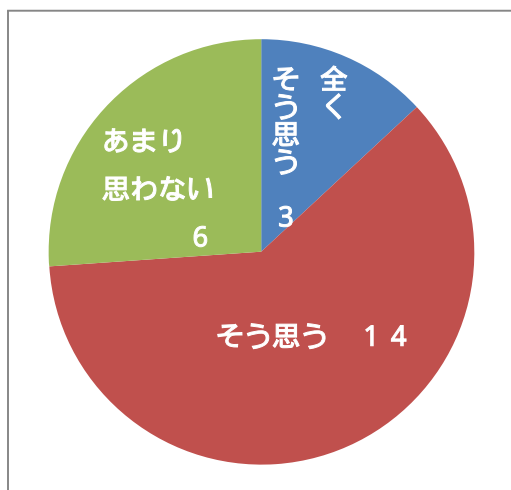
そう思う
・ 研修を積んで支援に当たっている。 ・ 各ネットワーク会議や、研修会の開催、出かける支援、地域の乳幼児育成事業への参加等幅広く実施している。 ・ 小・中の要望を取り入れながら柔軟に支援を行うことができている。
あまり思わない
・ いろいろなセンター的な役割を徐々に進めてはいるが、まだ十分ではないと思う。

4 自校はセンター的機能を発揮するにあたり，十分な力量があると思いますか。



そう思う
・ 研修を積み重ねている。 ・ 支援活動が広がっている。 ・ 相談等の件数が多いことから期待に応えているのではないか
あまり思わない
・ ニーズに応じ切れていない。 ・ まだまだ研修が不十分。

5 自校の教職員は、センター的機能の発揮について理解していると思いますか。



全くそう思う・そう思う
・ 活動内容等の説明を会議でしている。 ・ 定期的に活動内容を発信している。 ・ アンケートの結果からそう言える。 ・ 学校経営・運営ビジョンに位置づけ共通に理解している。
あまり思わない
・ 特別支援教育に携わるものとしての経験が浅い教員が多い。 ・ センター的機能の発揮についてのイメージが持ちにくい。 ・ 担当が行っている業務内容についてあまり理解を得られていないようだ。

6 県や養護教育センターへの要望、センター的機能の発揮について考えていること。

- 旅費，検査器具購入等の予算面の確保
- 包括的な支援を検討できるプロジェクトチームの組織
- 管理職の研修の充実（小中高等）
- 養護教育センターとの連携した支援体制づくり
- 特別支援教育コーディネーターの情報交換会の設定
- 各校のセンター的機能の発揮状況についての報告会の開催